

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 22-016

PDCA	事務事業名	青山記念武道館管理運営事業	部課等名	健康子ども部 スポーツ課 施設担当	担当	豊田	
					内線等	27-6663	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 4. 生涯スポーツ・レクリエーション 単位施策： (2) スポーツ施設の効率的利用と整備・充実 個別施策： ③スポーツ施設の整備					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	快適なスポーツ環境の環境維持に努め、青山記念武道館の設備の充実を図り、利用者に安全にスポーツができる場所を提供する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・指定管理者による施設管理の継続 ・利用者アンケートの実施 ※利用者数97,500人(27年度) 97,635人(28年度) 55,343人(29年度) 天井改修					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①年間利用可能日	327	328	331	日	
		②					
		③					
		事業費	29,641	25,296	27,300	千円	
		人件費	1,520	1,687	1,972	千円	
		総事業費	31,161	26,983	29,272	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①青山記念武道館利用者1人あたりに要した経費	248	488	361	円/人		
	②青山記念武道館敷地面積1㎡あたりの管理及び整備	2,104	2,348	2,547	円/㎡		
	③						
	成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①施設利用者数	実績値	97,635	55,343	81,130	人
			目標値	90,000	57,000	100,000	
②		実績値					
		目標値					
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地 ある			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ある				
事業の評価・課題	D 施設利用者数の目標値を達成することができなかった。高齢少子化により利用する団体や生徒も減少しており、施設を使用する機会が減少していることが一因として挙げられる。利用者、施設管理者、市担当者で構成する有識者会議を実施し、利用者の意見を反映した運営ができた。自主事業は計画通り実施された。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 有識者会議の内容や利用者アンケートを活用し、より収益性や集客性の高い運営を実施し、市民ニーズの反映や施設の有効活用に務める。また、引き続き夏休み中の月曜、第3月曜の開館、各種自主事業を実施、サービスの向上を図り、新規利用者の増加に努める。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位			
		①施設利用者数	100,000	人			